

根室高書道部 長岡さん全国へ

【根室】今月上旬に帯広市で開かれた全道高校書道展・研究大会（道高文連主催）で、根室高書道部の2年生長岡冴奈さん（16）が優秀賞を受賞した。来年夏に和歌山県で開かれる全国高校総合文化祭の書道部門に道代表として、根室、釧路管内から唯一出場する。長岡さんは「もっと勉強して、自分の作品を作り上げたい」と意欲をみなぎらせている。

（村上辰徳）

根釧唯一「賞取れるように頑張る」

全道大会には882点が出品され、長岡さんを含む17人が道代表に選ばれた。「文化部のインターハイ」とされる全国高校総合文化祭は芸術文化活動に取り組み高校生にとって最大の舞台で、根室高書道部の出場は2年連続となる。

長岡さんの作品は、木簡の一部を臨書したもので、縦135センチ、横70センチの全紙に3行書きで筆を走らせた。6月から制作を開始し、出品するまでに400

枚以上を書いた。墨の量に配慮しながら、字のかすれを巧みに表現した。顧問の林千鶴教諭は「字に力強さと伸びやかさがある。墨の量も良かった」と評価する。

長岡さんは根室高で本格的に書道始めた。中学生の頃、教諭から字のうまさをはめられたことがあったという。「字は自分の武器。もっとうまく表現できるようにになりたい」と思い、書道部に入った。「書いている

うちに、全国大会に行きたいと思うようになった。気持ちを込めた作品なので、上（の舞台）に行ってほしいと思っていた」と振り返る。

今後、全国高校総合文化祭に出品する作品の制作を始める。今月中旬から書道部の部長に就いた。長岡さんは「全国大会にはいろんな人たちが集まるので、いい機会になる。賞を取れるように頑張る」と話している。



木簡の臨書で全道大会の優秀賞を受賞した長岡冴奈さん